

小4算数 1けたでわるわり算の筆算

対象学年	小4	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	1けたでわるわり算の筆算				
課題	教科書p. 38を開け、絵を見ながら次の課題をときましょう。 (課題) 色紙が72まいあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。 (式) (答え) この問題が少しむずかしいと思ったら、次の課題から順番にときましょう。 ステップ1 色紙が9まいあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。 ステップ2 色紙が15まいあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。 ステップ3 色紙が30まいあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。 ステップ4 色紙が36まいあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。 ステップ4までできたら、(問題)をといてみましょう。				
課題の説明	2年生では九九を、3年生では1けたのわり算を学習しました。かけ算(九九)とわり算の学習を使って、教科書p. 38の絵を見ながらとしましょう。 はじめの(課題)がむずかしいと思ったら、下のステップ1からといてみましょう。 ステップのとちゅうで、できそうと思ったら、はじめの(課題)をといてみましょう。				

対象学年	小4	教科	算数	難易度	★★☆☆
単元	1けたでわるわり算の筆算				
課題	(1) 95まいの色紙を4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになって、何まいあまりますか。 (2) つぎの計算をしましょう。 ① $624 \div 3$ ② $846 \div 8$ ③ $468 \div 6$ (3) 4年生は215人います。4人ずつ長いすにすわったとき、全員すわるには、長いすが何きやくいりますか。				
課題の説明	わり算は1つ分をもとめるときにも使えるとてもべん利な計算です。分ける数がどんどん大きく(2けた、3けた)なっても、これまで(1けた)と同じように計算をしてもとめることができます。また、あまりが出たときも、あまりの大きさが分かります。あまりを考えることもできます。いろいろなパターンのわり算をといてみましょう。				

対象学年	小 4	教科	算数	難易度	★★★★☆																												
単元	1 けたでわるわり算の筆算																																
課題	わり算で学習したことを使うと、未来のカレンダーの日付が分かります。カレンダーには次のような<きまり>があります。 <きまり> 2020年1月1日は水曜日です。1週間は7日あるので、それぞれの日を1週間の日数7でわると、わり切れる日とあまりがでる日ができます。例えば、1日だったら、$1 \div 7 = 0$あまり1、14日だと、$14 \div 7 = 2$（あまり0）です。これを表にしてみると、カレンダーの日付はどの日も必ずあまりが0から6になります。あまりが6になると月曜日です。 2020年1月 <table><tr><td>月 （あまり6）</td><td>火 （あまり0）</td><td>水 （あまり1）</td><td>木 （あまり2）</td><td>金 （あまり3）</td><td>土 （あまり4）</td><td>日 （あまり5）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr></table> 課題 カレンダーにきまりがあることを知ったいちくんは、10年後のカレンダーが作れないかと考えました。10年後の1月1日の曜日を見つけてからカレンダーを作ろうと思います。 上の<きまり>を使って、10年後の1月1日の曜日をもとめましょう。 ただし、1年は365日ですが、4年に1回は366日（うるう年）になります。 例えば、2020年は366日、2021年は365日です。					月 （あまり6）	火 （あまり0）	水 （あまり1）	木 （あまり2）	金 （あまり3）	土 （あまり4）	日 （あまり5）			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月 （あまり6）	火 （あまり0）	水 （あまり1）	木 （あまり2）	金 （あまり3）	土 （あまり4）	日 （あまり5）																											
		1	2	3	4	5																											
6	7	8	9	10	11	12																											
13	14	15	16	17	18	19																											
課題の説明	わたしたちのくらしにカレンダー（日付）は欠かせないものです。始業式や入学式、卒業式も夏休みもカレンダー（日付）と関係しています。 そんなカレンダーも、未来がわかるとべん利なこともあると思いませんか。例えば、自分の卒業式は何曜日かな。成人式は1月の第2月曜日だけど何日かなというように．．．。実はこれには算数（たし算やわり算）が大きく関係しています。日付を7でわると出てくる0から6までのあまりに注目し、課題にちょう戦してみましょう。																																

対象学年	小 4	教科	算数	難易度	★★★★★
単元	1 けたでわるわり算の筆算				
課題	4年生のみなさんは、10年後に20さいになり成人式をむかえます。20さいのたん生日が何曜日なのかを（★★★★の課題）の考え方を使ってもとめてみましょう。 また、どのようにしてもとめたのか説明をしましょう。				
課題の説明	（★★★★の課題）の考え方を使って、成人をむかえる10年後の自分のたん生日が何曜日なのかを調べてみましょう。自分のたん生日以外にも、家族や友達のたん生日、こどもの日などの祝日の曜日も調べてみよう。 カレンダーにきょう味がでてきましたか。カレンダーには、まだまだいろいろなきまりやふしぎがあります。他にもどんなきまりがあるのか探してみよう。				